一般財団法人冠婚葬祭文化振興財団（東京都港区）

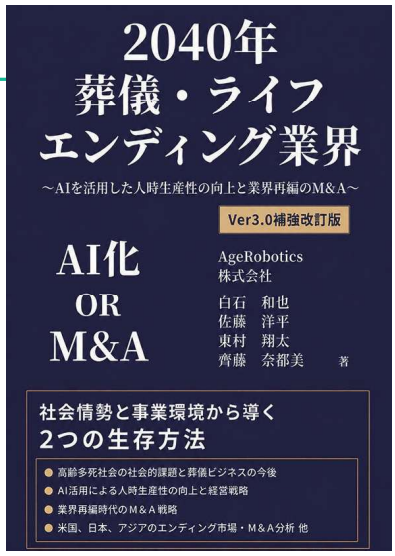
第２回「上級グリーフケア士」資格試験

• 受験資格　グリーフケア士資格取得者であること
• 試験内容　一次試験　CBT試験、小論文
　　二次試験　面接
　　研修
• 受験料　一次・二次試験 ３万5,200円（税込）
　　研修 ６万3,800円（税込）
• 一次・二次試験申込み期間
　全互協関係者の団体は７月１日～11月13日にバウチャーを購入し、７月１日～12月12日までにCBT試験を申し込む。一般のCBT試験の申込期間は７月１日～11月15日まで。一般の受験料はクレジットカード決済、コンビニエンスストア決済、Pay-easy決済が可能。
　申込み後、10～14日以内にテキスト「グリーフケアの理論と実際Ⅱ」が送付される。
• CBT試験　７月４日～12月15日
　試験会場は全国に約340会場あり、試験サイトから予約（会場によって受験可能日時が異なる）。
　「グリーフケアの理論と実際Ⅱ」各章から多肢選択式50問が出題され、試験時間は60分。
• 小論文提出期間 11月１日～12月15日
• 判定 2027年１月15日
　CBT試験、小論文合格者は、面接試験へと進む。
• 面接試験申込み期間 １月15日～28日
• 面接試験（オンライン）１月31日～２月２日
　30分程度の個別面接で、実施日時の予約は申込み期間内に試験サイトで行なう（先着順）。
• 面接試験合格者判定 ２月12日
• 研修申込み期間 ２月12日～26日
• 研修期間　３月14日～９月５日　全６回の研修を行なう。
　※研修期間中、個人面接を実施する予定
• 研修合格者判定 ９月5日
合格者には認定証、認定カードが渡される。
試験サイトでの結果発表は９月８日。

TEL●03-6273-3930

AgeRobotics㈱（東京都渋谷区）

「2040年葬儀・ライフエンディング業界 Ver3.0補強改訂版」発刊



「超高齢化社会を再設計する」をテーマに、葬儀領域を起点としたDX/AX支援を展開するAgeRobotics㈱は、葬儀・ライフエンディング業界向けの実務書『2040年葬儀・ライフエンディング業界 Ver3.0補強改訂版 ～ AIを活用した人時生産性の向上と業界再編のM&A ～』を発刊した。
　本書は、超高齢社会・多死社会の進行、労働人口の減少、葬儀単価の下落、ポータルサイトによる価格透明化、そして上場企業・PEファンドを含むM&Aによる業界再編の加速を背景に、葬儀社が持続的に成長するための経営戦略を体系化したもの。想定読者は葬儀社の経営者・幹部・現場リーダー・システム責任者・人事責任者等。
　日本は2040年に向けて高齢化と多死社会がさらに進行し、葬儀件数の増加と労働人口の減少が同時に進む局面に入っている。葬儀社の現場では、夜間対応、見積り作成、発注、遺影写真制作、請求・入金管理、アフターセールスなど、多くの業務が依然として人手に依存しており、人材不足が経営の足かせとなっている。
　一方で、家族葬や一日葬、直葬の浸透、インターネットによる価格比較の一般化、異業種参入により、従来の「葬儀単価×件数」に依存した収益モデルは変化を迫られている。さらに近年は、上場企業、互助会系企業、仏壇事業者、PEファンドによるM&Aが加速し、地域密着型の中小葬儀社も業界再編の波と無関係ではいられなくなっている。
　本書では、こうした構造変化に対して、葬儀社が単なる施行業者にとどまらず、終活や相続、不動産、遺品整理、介護施設紹介なども含めた「終活総合サービス業」へ進化するための実務的な道筋を提示する。

㈱そうそう（埼玉県川口市）

デジタル終活アプリ「SouSou」会員数1万人を突破

㈱そうそうは、提供するエンディングプラットフォーム「SouSou」が６月20日に会員数1万人を突破したと発表した。

SouSouは、マイナンバーカードを活用した本人確認や、デジタル逝去判定、提携事業者との情報連携などを通じて、本人の意思を家族や事業者へつなぐ仕組みを提供するスマートフォンのアプリである。

近年、デジタル遺言制度の創設を盛り込んだ法改正やデジタル遺産への関心の高まり、関連サービスや調査の増加など社会全体で「デジタル終活」が加速するなか、今後もさまざまなパートナー企業との連携を通じ、逝去後の各種手続きの自動化・簡略化を目指していく。

㈱ティア（名古屋市北区）

廃棄ロウソクを再利用したアップサイクルキャンドル「リロウソク®」

㈱ティアは、葬儀の現場で使用したロウソクを再利用した「リロウソク®」を展開する。

通夜・葬儀などで使用したロウソクを回収し、一度溶かしてススや汚れを取り除いたうえで、新たな灯りとして生まれ変わらせたアップサイクルキャンドルに、障害をもつ人が描いたアート「アール・ブリュット」とのコラボパッケージをあしらっている。

売上げの一部は作家に還元され、アーティスト活動の継続や経済的な自立支援に役立てているほか、遺児支援などに取り組む「あしなが育英会」へも寄付される。単なる再利用商品ではなく、環境・福祉・寄付を組み合わせた社会貢献型の商品として展開している。

好評
卸売市場+花き産業総合名簿
花市場のすべて2018
4,770円（送料・税共）

花業界の最新動向がわかる専門全国紙
花卉園芸新聞
毎月１・15日発行年間購読料 10,560円（送料・税共）
見本紙無料進呈→メールください

お申し込みは当社へ→ 郵便振替00810-5-23015、三菱UFJ銀行名古屋駅前支店 当座0212004
㈱花卉園芸新聞社（カキエンゲイ）
本社〒464-0850 名古屋市千種区今池2-1-16 八晃ビル２B
TEL052-744-0733　FAX052-744-0739
http://www.kakiengei.jp/　メールkakiengei@minos.ocn.ne.jp